

第2回 第6次貝塚市総合計画審議会会議録

と き 令和7年10月9日（木）午後2時～

ところ 市役所本庁舎3階 公房会議室A

○出席者

阪口芳弘委員、田畑庄司委員、出原秀昭委員、谷口美保子委員、河野雅子委員、太田浩二委員、橋爪紳也委員、中村美砂委員、甘佐勉委員、東村一夫委員、古家克之委員、川崎康寛委員、兒玉和憲委員、安野和子委員、古家翠委員、朝日陽子委員、馬場則彦委員、縣紀子委員

○欠席者

木多道宏委員、正垣啓之委員、鈴木司郎委員

○傍聴者 0名

1. 総合計画審議会部会について

- ・事務局より、貝塚市総合計画審議会部会名簿および部会の開催について（資料2、2-1）の説明が行われました。
- ・部会の傍聴について質問があり、今回の審議会と同様の形で傍聴が可能であること、受付は開催時間の30分前から開催までの間に受け付けることが事務局より回答されました。

2. 基本計画（素案）について

- ・事務局より、第6次貝塚市総合計画 基本計画（素案）（資料3）の説明が行われました。
- ・本素案については、各部会でそれぞれの対象の項目が審議され、その結果が次回の全体の審議会でも共有されることとなりました。

3. 基本構想（素案）について

- ・事務局より、第6次貝塚市総合計画基本構想（素案）（資料4）および第2期貝塚市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（素案）（資料4-1）について説明が行われました。
- ・将来推計人口について、目標を掲げることは良いが、出生数が減少している現状を踏まえ、目標達成には相当の努力が必要であり、現状に対応した対策が必要であるとの意見がありました。
- ・ビジョンは希望的観測ではなく、専門機関である**社人研推計**に基づいた冷静な科学的根拠を持つ見通しをすべきであるとの意見が出ました。
- ・事務局より、貝塚市の出生率最新値は1.35であり、出生率向上は市の取組だけでは難しいため、今回は目標に掲げていないこと、厳しい人口減少に歯止めをかけるために、転入者の増加と転出者の減少を大きな取組として掲げていることが説明されました。

- ・社会増が外国人の転入超過に頼っている現状を踏まえ、受け入れのためのケア（ベトナム語堪能な職員の採用など）が必要であるとの指摘がありました。
- ・事務局は、外国人を積極的に受け入れるよりも、本市に来ていただいた外国人の暮らしやすさを考え、窓口でのアプリ活用、英語が話せる職員の採用を実施していると回答しました。
- ・人口減少を食い止める目的は税収であるかとの質問に対し、税収確保のほか、急激な人口減少は最低限の市民サービスを維持できなくなるためであると回答しました。また、地方創生の方向性が「人口増を目指すもの」から、人口が減っても人々が幸せに暮らせるようにする（ウェルビーイング）方向に変わってきているとの見解が示されました。

4. 市民アンケート調査結果報告書等について

- ・事務局より、第6次貝塚市総合計画策定のためのアンケート調査結果報告書（資料5）および関連資料（5-1～5-5）の説明が行われました。
- ・補足として、第5次総合計画の評価検証報告書（資料5-6）および第2期総合戦略の評価検証報告書（資料5-7）の詳細資料が、部会で施策検討の参考とするために提示されたことが報告されました。
- ・第6次総合計画策定のためのワークショップは終了したが、計画の見直しや各施策の内容検討の際には、市民の生の意見を聞くことは重要であり、形を変えて継続していく方針が示されました。

5. その他

- ・各部会で審議が進められ、全体の審議会は12月から1月頃の開催を予定していることが報告されました。

6. 閉会

- ・すべての議題の審議が終了し、橋爪会長により閉会されました。